

いちまい きつぶ  
一枚の切符から



やまとこおりやましょう

大和郡山市長  
うえだ きよし  
上田 清

ふねなんば むじんとう ひと ひと  
船が難破し、無人島で暮らすことになった人たちが、まず考えなければならないのは食糧や水  
かくほ まえ みずわ いづみ なまえ  
の確保ですが、その前に、たとえば水が湧き出ている泉に名前をつけるとか、みんなが集まる  
はしお ちめい じつ だいじ き  
場所に地名をつけることが、実はとても大事だと聞いたことがあります。

たし つ い へん ほう たが い  
確かにそのとおりですね。釣りに行くにしても、「あの辺」とか「あっちの方」ではお互いの意  
し つう せいかつ  
思が通じません。

やまとこおりやまし むかし らめい えきめい おお わたし せいかつ  
大和郡山市でも、昔からの地名や駅名などの多くが、私たちの生活になくてはならないもの  
となっています。

めいめい ゆらい はいけい ま わす  
しかし、なかには命名の由来や背景がいつの間にか忘れられてしまったケースもあり、できる  
とくわか ひと う つ どりよく ひつよう かんが  
だけ、特に若い人たちにはしっかり受け継いでいく努力が必要ではないかと、考えているところ  
です。

れい

いくつか例をあげましょう。

さいしょ ほんし きんてつ えきめい こおりやま ばあい いま ねん  
最初に、本市ではJRも近鉄も駅名は「郡山」となっていますが、JRの場合、今から100年  
まえ くに てつどう こくゆう か こくてつ とき ふくしまけん こおりやま  
あまり前、わが国の鉄道がすべて国有化され国鉄となった時、福島県にも「郡山」があるので  
やまとこおりやま へんこう くに つよ せま じもと ひと ま  
「大和郡山」に変更せよと国から強く迫られたのです。しかし、地元の人たちは負けていません  
ならじだい つか ちめい かんたん か わけ けつか くにかわ る  
でした。「奈良時代から使われてきた地名を簡単に変える訳にはいかない!」。結果、国側が折れ  
いま ほんし こおりやま きつぶ かんさいほんせん しめ かん ふくしまけん こおりやま きつぶ  
たのですが、今でも本市「郡山」の切符には関西本線を示す(関)、福島県「郡山」の切符には  
どうほくほんせん しめ ほく もじそ おも こ  
東北本線を示す(北)の文字が添えられています。

きつぶ いちまい  
切符一枚にも、ふるさとへの思いが込められているのです。



いっぽう こおりやまじょうし にし たいしょくかん ちめい てい そんじ かた  
一方、郡山城址の西に「大職冠」という地名があります。バス停もあるので、ご存知の方も多いいかと思いますが、発音だけで理解すると「大食漢」と勘違いしてしまいそうです。

じつ せんごく じ だい あ こおりやまじょう はい しろ せいび じょうかまち はつてん おお こうけん とよとみひで  
実は、戦国時代の終わり、郡山城に入り、城の整備や城下町の発展に大きく貢献した豊臣秀長(秀吉の弟)は、当時大変勢力の強かった多武峰(現桜井市)の談山神社を郡山に移しました。

たいしょくかん たいかのかいしん いかい さず たんざんじんじや さいじん ふじわらのかまさ  
「大職冠」とは大化の改革によってこの位階を授けられた談山神社の祭神、藤原鎌足を指して

ひでなか ひようき けんいん たいしょくかん じんじやかわうつた  
いるのですが、やがて秀長は病気になり、その原因が大職冠のたたりであるという神社側の訴え

もどもど ちめいのこ で元に戻ることになり、地名だけが残ることになったのです。

ちか かまたりじんじや  
近くには「鎌足神社」がひっそりとたたずんでいます。

なうけん ちす ひろ ふしき  
ところで、奈良県の地図を広げると不思議なことに気がつきませんか?もちろん地名の話。た

こおりやましない みのしようちょう たんじのしようちょう いす しちょう きょうちょう みの  
とえば郡山市内では「美濃庄町」「丹後庄町」「伊豆七条町」…。共通するのは「美濃」(現岐阜県南部)「丹後」(現京都府北部)「伊豆」(現静岡県東部)など、古代の日本で使われていた國の名前を含んでいることで、奈良時代、大仏造営のために全国から集まった人々が、出身地ごとに生活をしたなごりだという説もあるようです。

こし へいじょうせんと ねん へいじょうきょう せいもん らじょうもん ならし やまとこおりやまし きょうかいせん さ  
今年は平城遷都1300年。平城京の正門「羅城門」は、奈良市と大和郡山市の境界線が佐  
ほかわ まじ ふきん がいこく し せつ からら もん はい もん みのみ  
保川と交わる付近にあり、外国の使節は必ずこの門から入ることになっていました。門の南には、  
ちゅうごく えいか とうじょう りつぱ みつ はし か みつはし らめい けん  
中国の映画などによく登場する立派な三つの橋が架けられていたため、「三橋」という地名(現  
しもみつはしちょう かみみつはしちょう のこ)  
下三橋町、上三橋町)が残ったとか。

ちめい ゆめ おお めせん こおりやましない さんさく たの  
地名ひとつからでも、夢は大きくふくらみます。そうした目線で、郡山市内を散策するのも樂  
しいですよ。是非お出かけください。

やまとこおりやまし ちよう  
**大和郡山市長プロフィール**  
しめい うえた きよし  
氏名 上田 清  
せいねんがっぴ しょうわ ねん かつ にち  
生年月日 昭和26年9月11日

けいれき  
**経歴**  
しょうわ ねん かつ きょうとだいがくぶんがくぶそきょう  
昭和50年3月 京都大学文学部卒業  
なうけんりつこおりやまこうどうがっこくきょうゆ  
奈良県立郡山高等学校 教諭  
なうけんきょういくい いんかいじ むきょくがっこくきょういくか しどうしゅじ  
昭和50年4月 奈良県教育委員会事務局学校教育課指導主事  
なうけんきょういくい いんかいじ むきょくきょうしょくいんか かちょうほさ  
昭和63年4月 奈良県教育委員会事務局教職員課課長補佐  
やまとこおりやまし ちようとうせん  
平成9年4月 大和郡山市長 当選  
やまとこおりやまし ちようしゅうにん  
平成13年6月 大和郡山市長 就任  
やまとこおりやまし ちようにきめ  
平成13年7月 大和郡山市長 二期目  
やまとこおりやまし ちようさんきめ  
平成17年7月 大和郡山市長 三期目  
げんざいいた  
平成21年7月 現在に至る